



松浦市歌CDができました！

松浦市歌『ともに未来へ』

松浦市市制10周年を記念して制作された松浦市歌『ともに未来へ』のCDが完成しました。

CD制作のために集まった市民コーラスグループのメンバーらは、松浦高校音楽教諭の中武幸嗣さんの指導を受けながら練習を重ねてきました。

8月5日に同校音楽室で、同校放送部の協力の下、松浦市歌が収録されました。

出来上がったCDは、市内小・中学校や市政囁託員を通じて市内各地区へ配布されます。



▲完成したCD



夏を彩る花火と精霊船の送り火

志佐町納涼花火大会

第66回志佐町納涼花火大会が8月15日、志佐町鹿ノ爪橋周辺で開催されました。

志佐町の5地区の住人が力を合わせて作った精霊船が松浦駅前を出発し、商店街を練り歩きました。担ぎ手たちは精霊船とともに志佐川へ入り、夏の夜空を彩る花火と志佐

川にゆらめく精霊船の送り火で美しく幻想的な光景が浮かび上がりました。

会場は精霊船を見送る多くの人でにぎわい、川の方に手を合わせ、故人を偲びながら精霊船を見送っていました。



おめでとう！金賞受賞！

長崎県吹奏楽コンクール

第61回長崎県吹奏楽コンクールが7月31日、アルカス SASEBO で開催され、本市から出場した松浦ウインドオーケストラと志佐中学校吹奏楽部が、見事金賞を受賞しました。

本大会は、小学校・中学校・高等学校・大学・職場一般の5部門で開催され、演奏の技術と表現を競いました。

今回初めて金賞を受賞した松浦ウインドオーケストラは、22人という少人数で出場しました。審査員からは、少人数とは思えないサウンド、表現豊かな素晴らしい演奏と高い評価を受けました。



みんなで音楽を楽しもう♪

ふれあいコンサート

御厨中学校吹奏楽部による「ふれあいコンサート」が8月5日、御厨公民館で開催されました。

コンサートでは、「水戸黄門」や「暴れん坊将軍」のテーマ曲などのおなじみの曲のほか、県吹奏楽コンクールの課題曲などが披露されました。

この日、同公民館主催の高齢者学級に合わせて開催され、同学級の参加者、保護者、園児など約100人が訪れ、同吹奏楽部の演奏を楽しみました。アンコールでは「学園天国」が披露され、会場から大きな拍手が送られました。



受け継がれるお盆の伝統行事！

牟田ジャンガラ・星鹿ジャンガラ

◆牟田ジャンガラ

牟田ジャンガラは、星鹿町牟田地区で毎年8月15日に行われる別名「^{のぼり}幟さし」とも呼ばれ、市指定無形民俗文化財に指定されている盆行事です。

この行事は、疫病を退散させ、五穀豊穡を祈願する子どもたちの行事として大切に伝えられています。

この日参加した子どもたちは、御厨様の墓を「ハリナムホッポンジャホイホイホイ」と元気に大きな掛け声を上げながら幟の根元で突いていました。



◆星鹿ジャンガラ

星鹿ジャンガラは、星鹿町星鹿地区で毎年8月15日に行われる別名「^{のぼり}幟さし」とも呼ばれ、西浦・中北浦の2組に分かれ、それぞれ大幟と小幟を立てて浄土寺まで練り歩きます。

この行事は、市指定無形民俗文化財に指定されている盆行事で、疫病を退散させ、豊漁・豊作を祈願し、先祖の供養をするものです。

この日参加した子どもたちは、つんぼ様の墓前で元気に大きな掛け声を上げながら、幟で塚を打っていました。



納税の推進に貢献

納税組合功労者表彰

長年にわたり納税組合長として、納税の推進に貢献された人に贈られる納税組合功労者表彰の贈呈式が8月23日、市役所で行われました。

式では、納税組合長として20年以上活躍し退任した人に感謝状、勤続15年を迎えた人に表彰状が贈られました。

被表彰者は次の通りです（敬称略）。

【感謝状】 渡口剛則（今福・木場）

【表彰状】 福島信吉（調川・七区ノ二）



はっけよい！のこった！

千灯笼奉納相撲大会

御厨町郭公尾地区の伝統行事である千灯笼奉納相撲大会が8月17日、同地区の御堂様前広場で開催されました。

この行事は、地区住民の親睦と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年開催されています。

大会には、地元の小・中学生が参加。豆力士たちは観客からの大声援を受けながら、熱のこもった取組を見せました。

取組が終わると、1年間の健康を願って「力飯」と呼ばれる大きなおむすびが子どもたちと観客に振る舞われました。

